



<https://www.hcr.or.jp>

International Home Care & Rehabilitation Exhibition

CONTENTS

New Year H.C.R. 2019	1	8 来場者アンケート結果	6
第45回 国際福祉機器展 H.C.R. 2018報告		9 出展社アンケート結果	7
1 オープニングセレモニー	2	10 広報、PR活動	8
2 来場者・来場者割合	2	11 車いす貸出コーナー&シャトルバス	8
3 出展社数	2	12 H.C.R.ぼくらの小麦Cafe	8
4 国際シンポジウム	2	13 東7・8ホール来場者誘導、流入結果	8
5 H.C.R.セミナー	3	14 2018年度版 福祉機器ガイドブック	8
6 特別企画	3,4	次回開催予定・ H.C.R. 2019のご出展について	8
7 出展社プレゼンテーション	5		

編集・発行：一般財団法人 保健福祉広報協会
Publisher : Health and Welfare Information Association

住所：〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798



New Year H.C.R. 2019



高齢者や障害者の自立支援のために、 福祉機器の開発・普及がますます期待されています

超高齢社会であるわが国は、2025年にいわゆる団塊の世代のすべての人が75歳以上となり、介護ニーズの増大が見込まれます。また、介護を必要としない高齢者や障害者であっても、在宅などにおいて自立した生活を維持するための支援ニーズはますます高まると予想されます。しかし、それらのニーズを支える2025年の介護等人材の不足人数は37.7万人を超えるとされています。



こうした課題を解決するための政策の一助として、国において福祉機器の開発・普及促進が掲げられていますが、これまで以上に高齢者や障害者の支援ニーズをふまえ、介護等人材が働く福祉現場の多様なニーズをくみ取った開発が必要であるとしており、民間企業や研究機関と福祉現場間においてニーズの共有や、試作製品のモニター調査・評価などがすすめられています。

厚生労働省における「障害者自立支援機器等開発促進事業」をはじめ、経済産業省においても、平成30年度から3年間の事業として新たに「ロボット介護機器開発・標準化事業」を実施し、その成果を福祉現場に普及することをめざすとしています。

本会では、上記の国の政策動向をふまえつつ、国際福祉機器展H.C.R.などの事業をとらえて、高齢者や障害者の自立支援に貢献します。特に、質の高いサービスの提供、慢性的な介護等人材不足の解決に資するため、福祉現場の多様なニーズを反映し、安全性・機能性に優れた福祉機器の開発・普及促進に役立つ情報の収集・提供に努めてまいります。

幅広い方々にご来場いただけるH.C.R.をめざします

2020年のオリンピック・パラリンピックを迎えるにあたり、わが国においてユニバーサルデザインによるいっそうの共生社会に向けたまちづくりの推進と、ICTの活用による利便性の高いコミュニケーション支援機器などの開発・普及に対する注目度が高まっています。

そこで、今年で46回目を迎える国際福祉機器展H.C.R.では、国内外の最新の福祉機器の展示をはじめ、福祉機器の適切な選び方・使い方の一般的な知識、福祉機器に関連する社会保障制度の動向、国際的な福祉制度・施策の最新動向、福祉現場の職員のスキルアップ、高齢者や障害者などを支える福祉機器の開発・普及および福祉機器市場の発展などに対する情報提供を行い、例年以上に幅広い方々にご来場して満足いただける展示会をめざします。

なお、本年は、これまで会場としていた東京ビッグサイトの東展示ホールではなく、西・南展示ホールでの開催となりますが、運営面についてもご来場者の皆さまが安全に安心して展示会をご覧いただけるよう万全を期してまいります。

H.C.R. 2019の開催にあたり、ご来場者、出展企業・団体をはじめ関係者の皆さまのご支援・ご協力をお願いいたします。

